

林 ナラさん

東京基督教大学 神学部 国際キリスト教福祉学科

3年生（2020年3月末時点）



現在、学校で取得を目指している資格や、そのきっかけを教えてください

卒業とともに介護福祉士の資格を取得する予定です。
これまで私が大事にしてきた神学と福祉を学びながら、人間の「尊厳」というものに興味を抱きました。この世には多くの人がいて、それぞれ個人として尊く、そして、その人が生きてきた人生が賜物なのです。大学では、それらを具体的に学んでいます。また、私は地域と福祉を結び合わせていきたいと考えています。日本の福祉は進んでいるので、日本で多くのことを学び、一人ひとりが尊厳を保つことのできる介護を目指していきたいです。

津久井督六記念財団を知ったきっかけや、イベントに参加した印象を教えてください

津久井督六記念財団を知ったのは、大学の教授から推薦されたことがきっかけでした。奨学生になってからは、財団主催のイベントにも参加させていただきました。同じ福祉を学び、同じ夢を持つ仲間との交わりはとても貴重な機会でした。映画「ピア」の鑑賞では、たくさんのことを学びました。心を合わせて物事を共にするチームワークの大切さや、様々な立場に置かれている地域の方々を支えるケアなど、最後まで印象深く観ることが出来ました。

津久井督六記念財団の奨学金がどのように役に立ったか教えてください

私は5人兄妹の長女として、いつも責任感を持って人生を歩んできました。妹たちもまだ学生のため、自分の生活費などは全てアルバイトをして賄っていました。しかし、津久井督六記念財団の奨学金をいただくことで、早朝や放課後のアルバイトの時間を減らすことができ、その時間で学業に専念することができました。また、学費にも奨学金を使わせていただきました。様々な面で支えていただき、本当に感謝しています。大切にに使わせていただきました。

今後の進路や目標、将来の夢などを教えてください

この3年間、介護福祉士の資格取得を目指して学んでいますが、将来、福祉のどの分野に進むか、どの立場で働くのかはまだ明確に決まっていません。しかし、今置かれている場所で忠実に生活することを心掛けています。これまで、寮生活や学業、アルバイトなどを通して、多くのことを学んできました。人間関係など、社会に出ていく一歩を、日々教わっているのだと確信しています。卒業後も多くのことを学び続けていきたいです。

これから津久井督六記念財団奨学生の応募を考えている方へ一言

アルバイトなどで学校生活が大変な方や、経済的なサポートが必要だと感じる方は迷わず応募することをお勧めします。津久井督六記念財団は、学業に集中したい方にとって、とても必要であると思います。ここで行われるイベントも最高に楽しかったし、イベントを通して今でも連絡する仲間ができました！